

## 第三期帯広市地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果（概要版）

### 1. 調査の目的

令和2年度から令和6年度までを計画期間とする第三期帯広市地域福祉計画策定の基礎資料とするため、市民の地域福祉に関する意識や実態を把握し、今後の地域福祉の施策に反映させるためアンケート調査を実施したものである。

調査方法や調査の実施概要は以下のとおりである。

### 2. 調査の概要

調査は、帯広市に住所を有する20歳以上の男女1,000人を地区別・男女別・年齢階層別無作為抽出によって配布対象者を選定した。調査期間は平成30年10月12日～11月10日までとし、配布・回収は郵送により行い、アンケートの回収数は431人であった。

回答者の属性

居住地区別回答数

区分	回答数(件)	比率(%)
東地区	45	10.4
鉄南地区	67	15.5
西地区	109	25.3
川北地区	51	11.8
西帯広地区	65	15.1
南地区	74	17.2
農村地区	20	4.6

年齢別回答数

区分	回答数(件)	比率(%)
男	178	41.3
女	249	57.8
無回答	4	0.9

男女別回答数

区分	回答数(件)	比率(%)
20歳代	26	6.0
30歳代	36	8.4
40歳代	67	15.5
50歳代	65	15.1
60歳代	85	19.7
70歳代	103	23.9
80歳以上	44	10.2
無回答	5	1.2

### 3. 調査結果の概要

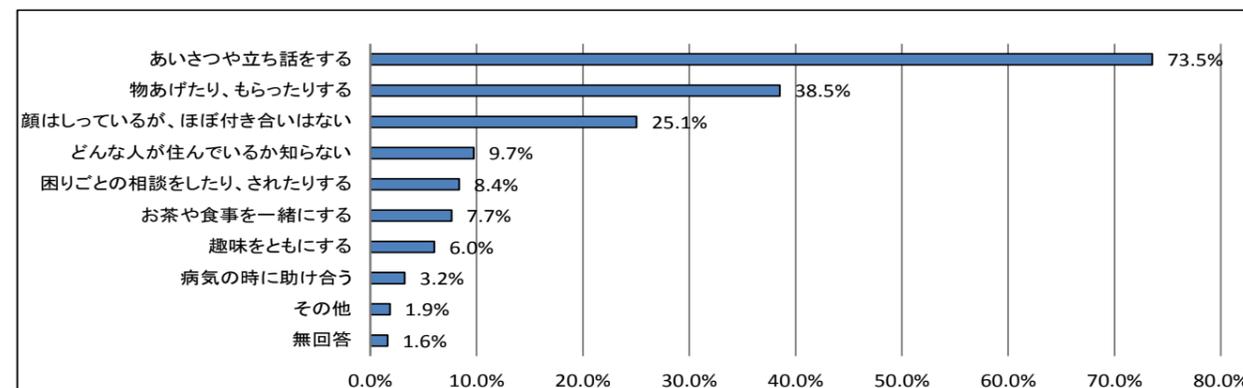
①から④の調査結果は以下のとおりである。

また、複数回答を認めている場合は回答率の合計が100.0%を超える場合があります。

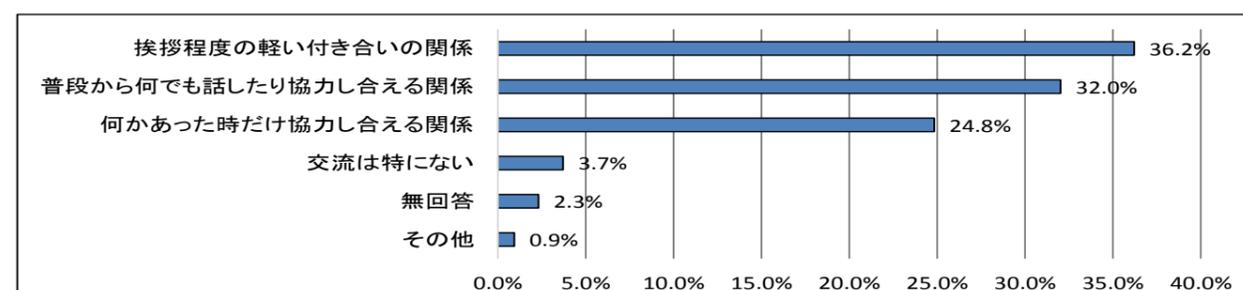
#### ①地域との関わりについて

近所付き合いについては「あいさつや立ち話をする」と答えた人が73.5%いるものの、ほとんど関わりをもたないと回答した人が30%以上いることが伺えるが、問8の近所の関係性では協力し合える関係が必要と考える人も一定数いることが見られた。

#### ■ 問7 あなたは、近所にお住まいの方とどのようなお付き合いをしていますか（複数回答可）



#### ■ 問8 あなたは、近所との付き合いでどのような関係が一番良いと思いますか。（一つだけに○）

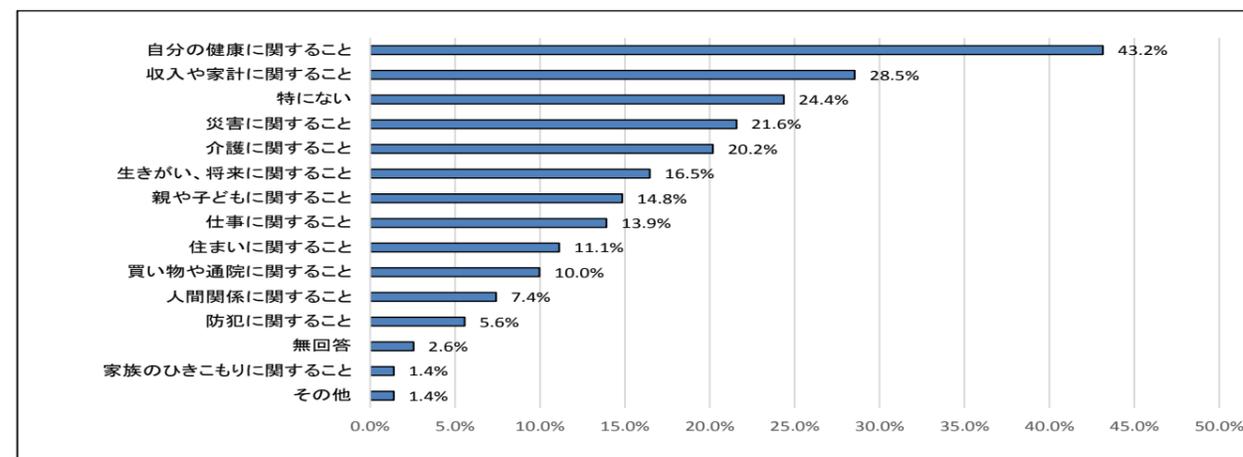


#### ②近所の方の生活状況について

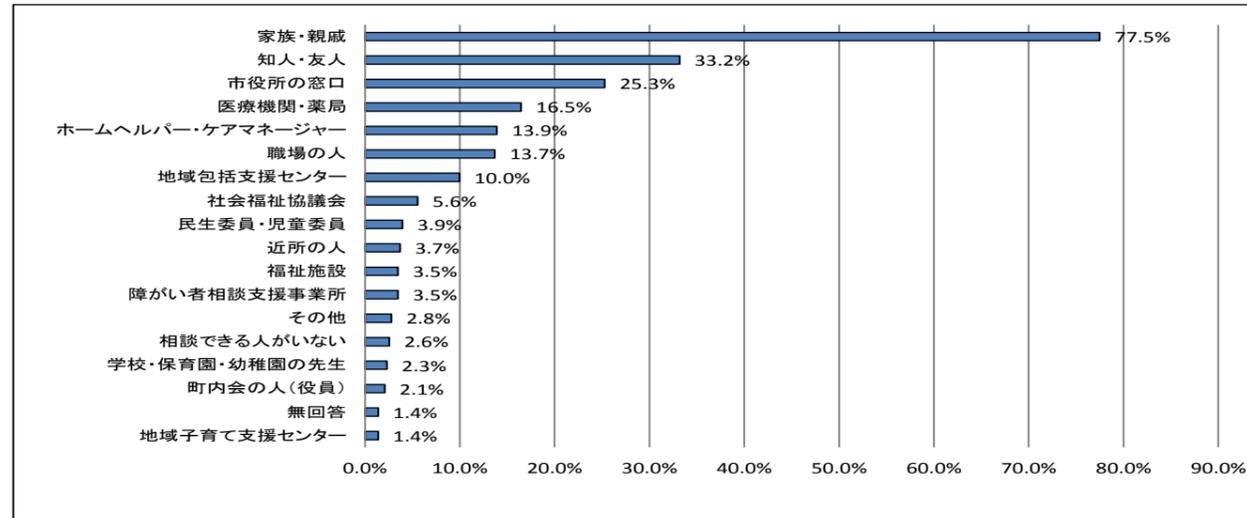
問10の困っていること、不安なことについては「自分の健康に関すること」、「収入や家計に関すること」などが上位となり、多くの人が少なからず困りごとを抱えていることが伺えた。

また、困ったときの相談先については大半が「家族・親戚」となっているが、町内会や近所の人で相談できる人がいない状況が見られ、近所の困りごとを抱えた人を知っているかという問いについては、大半の人が認知していない状況となった。

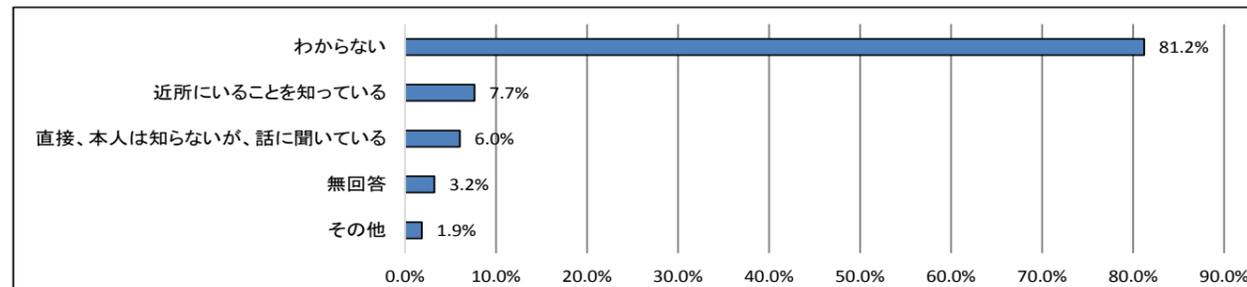
#### ■ 問10 あなたは、日常生活や医療・福祉のことで困っていること、不安なことはありますか。（複数回答可）



■ 問 11 あなたは、日常生活や医療・福祉のことで困ったとき、誰に相談したいですか。(複数回答可)



■ 問 12 近所に日常生活や医療・福祉のことで困っていそうな方はいらっしゃいますか。(一つだけに○)

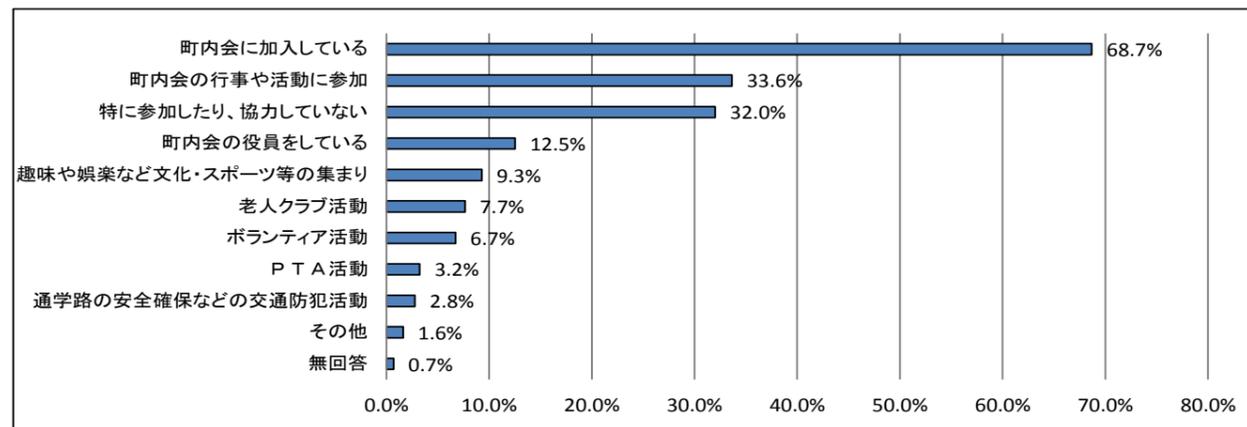


③地域活動について

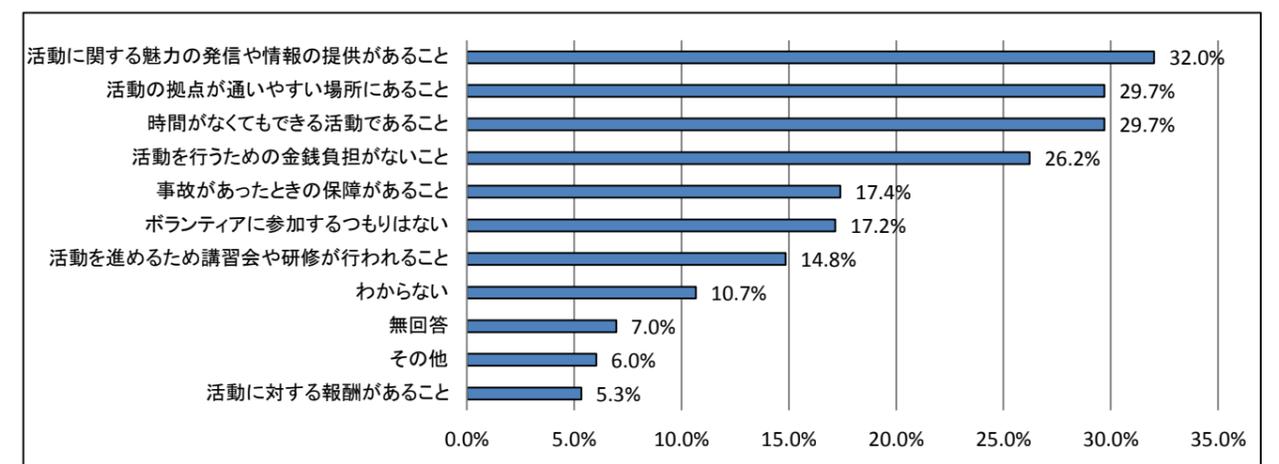
地域活動への参加や協力については、68.7%の人が「町内会に加入をしている」が、実際に活動をしている人は3割程度にとどまり、参加、協力をしていない人が3割いるものとなった。

また、ボランティアに参加するためのきっかけとしては活動に関する情報発信、活動拠点の場所があることなどが多かった。

■ 問 14 あなたは、地域のどのような活動に参加したり、協力したりしていますか。(複数回答可)



■ 問 18 あなたがボランティアに参加するために、どのようなことが必要ですか。(複数回答可)

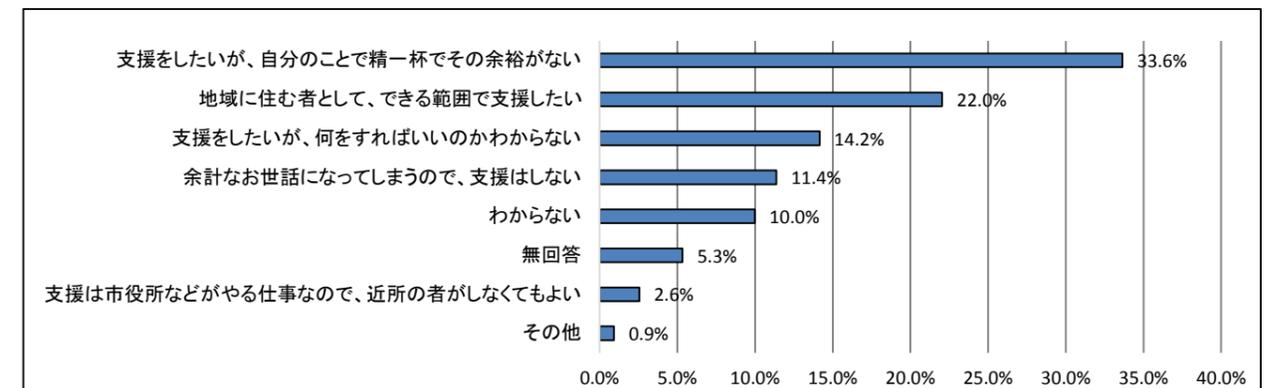


④地域における助け合いについて

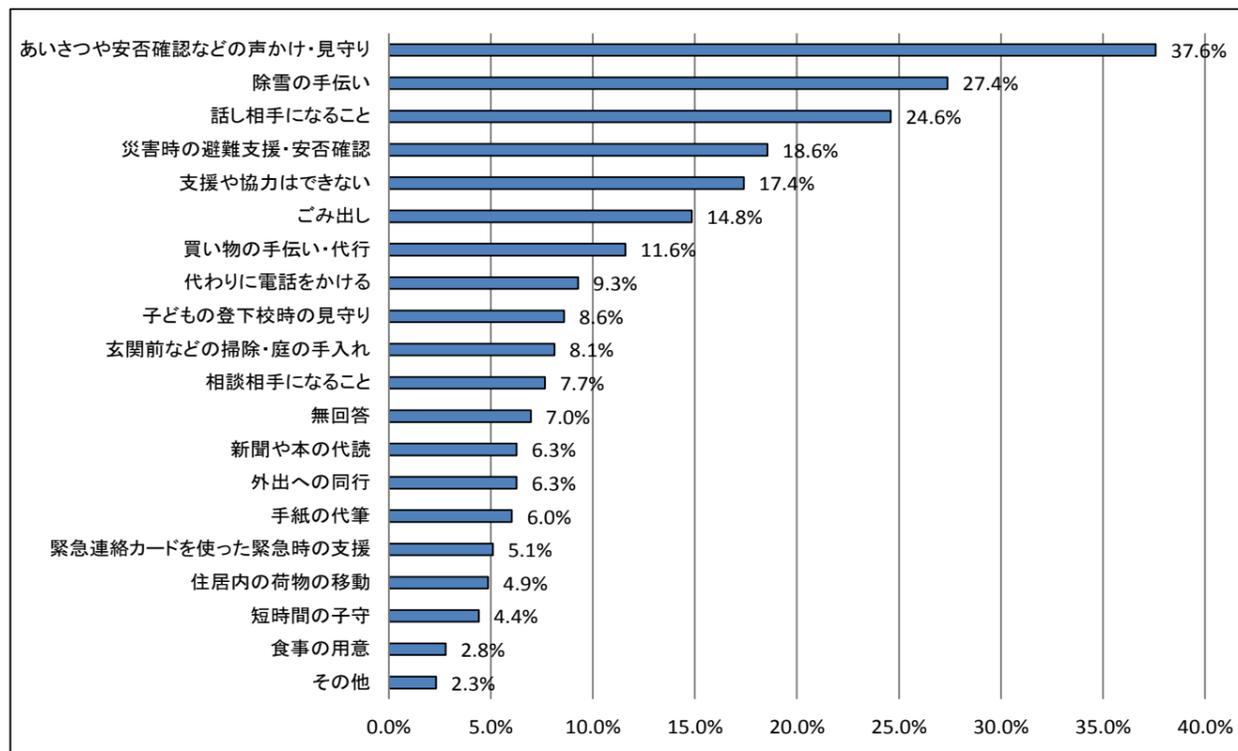
支援を必要としている方への支援や協力についての考え方では「自分のことで精一杯で他の人のことを支援する余裕がない」、「余計なお世話になるので支援しない」と回答した人は約5割になった一方で、「支援をしたい」、「支援をしたいが何をすればいいのかわからない」という回答も約3割あり、実際にできる支援や協力については、「あいさつや安否確認などの声かけ・見守り」が約4割「除雪の手伝い」が3割近くとなり、全体として8割の人が何らかの協力ができるという回答になっている。

また、現在もしくは将来受けたい支援や協力については、約半数の人が「除雪の手伝い」と回答しており、次いで「災害時の避難支援・安否確認」が3割となっている。

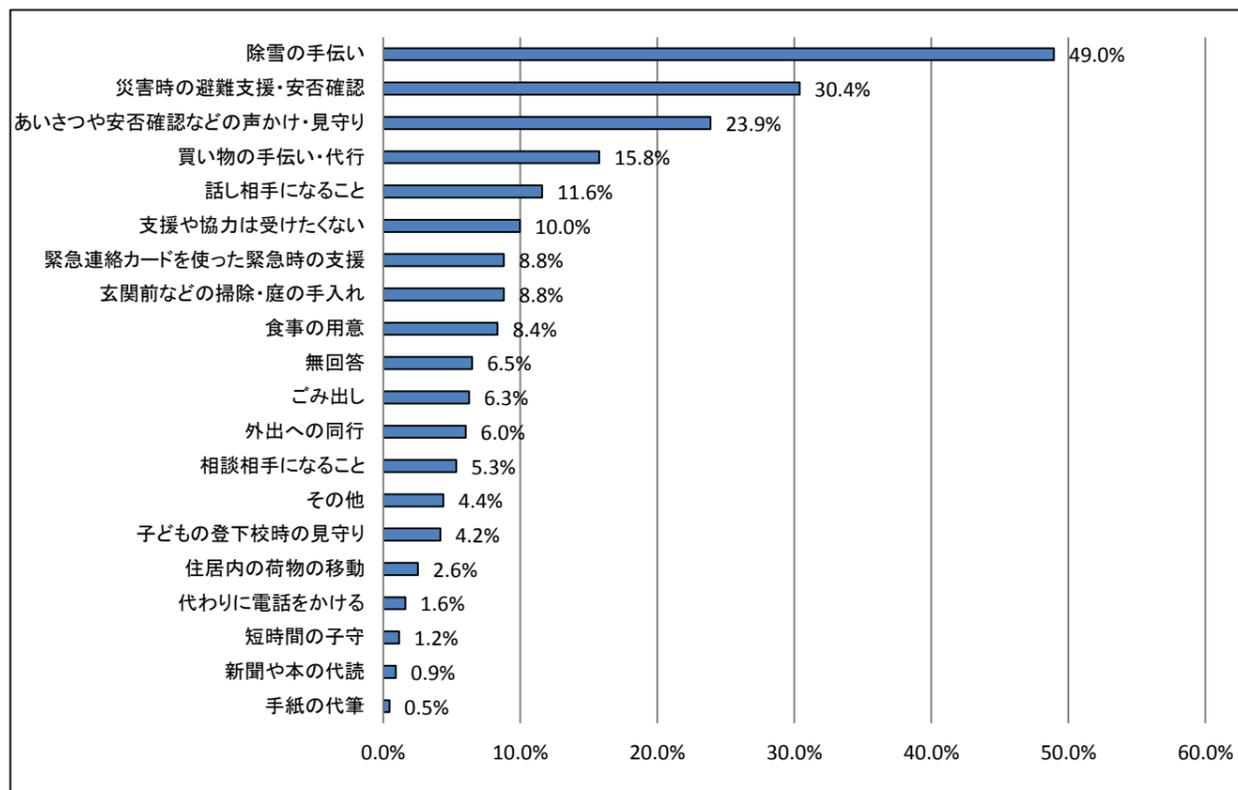
■ 問 19 地域にお住いの何らかの支援を必要としている方への支援や協力について、あなたの考え方に最も近いものは何ですか。(一つだけに○)



■ 問 20 地域で生じている様々な福祉分野の生活課題に対し、『あなたができる支援や協力』は何ですか。(複数回答可)



■ 問 21 『現在もしくは将来的にあなたが受けたいと思う支援や協力は』何ですか(複数回答可)

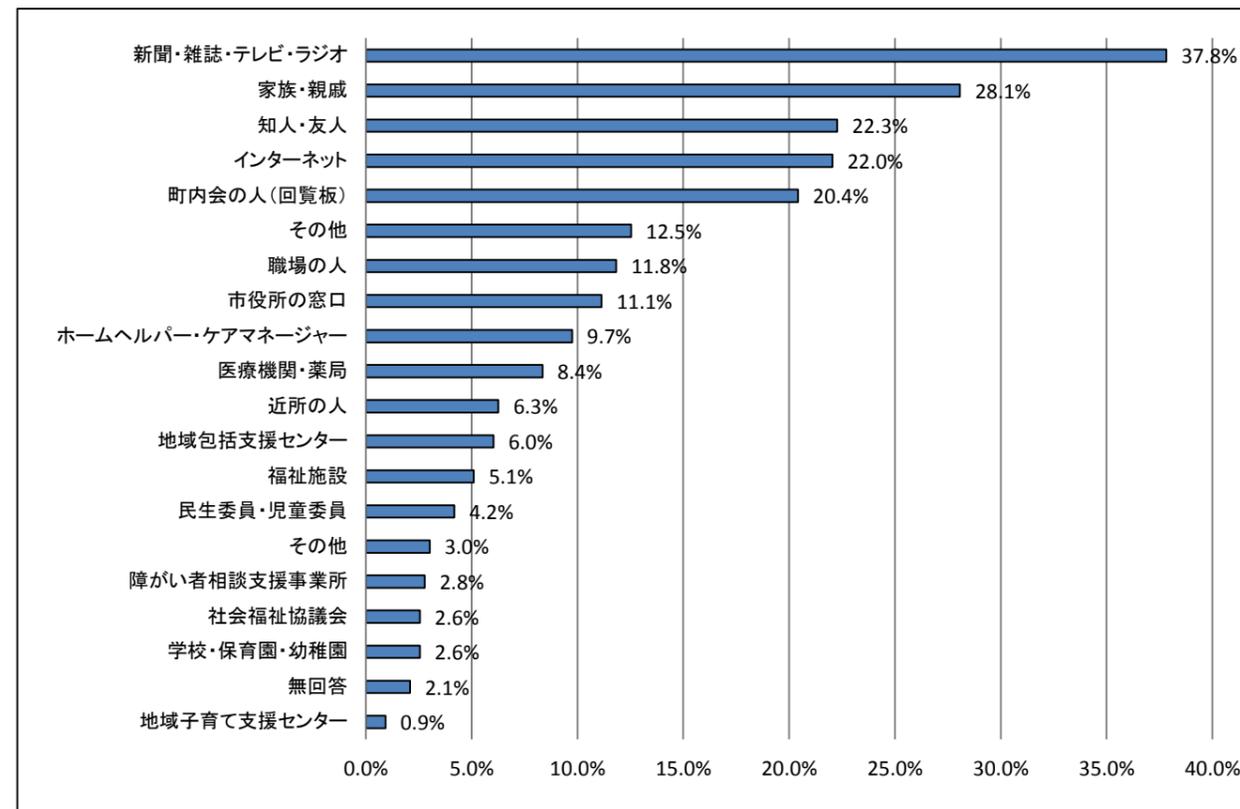


⑤福祉理解について

福祉に関する情報入手については「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」と回答した人が最も多くなり、次いで「家族・親戚」が多いものとなった。

また、福祉について理解を深めるための機会はどのようなものが必要かという問いでは、「福祉の制度、サービスなどについて学ぶ機会」、「気軽に話し合える機会」が必要と回答した人が多いものとなった。

■ 問 24 あなたは、福祉に関すること(福祉サービスや福祉施設のことなど)について必要な情報は、どこから入手していますか(複数回答可)



■ 問 25 あなたは、市民が「福祉に」ついて理解を深めるためには、どのような機会が必要だと思いますか(複数回答可)

